

令和8年度 江戸川区立小松川小学校 学校関係者評価報告書

学校教育目標	○心豊かな 思いやりのある子 ○よく考え 進んでやりとおす子 ○健康な 明るい子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○「わかる」「できる」喜びを味わい、確かな学力を身に付けられる学校 ○自他ともに大切に知る知・徳・体のバランスの取れた児童 ○一人一人がやりがいを感じ、情熱をもって教育活動を実践できる教師
前年度までの本校の現状	成果 ○授業力向上を中心に、組織的に学力向上に向けて取り組み、成果を挙げた。 ○心理教育プログラムを全教員で学び、よりよい人間関係づくりについて研究した。	課題	○授業力向上への取組に個人差があり、全体としての改善へ結び付かなかった。 ○基礎基本の定着は果たせたが、主体的な深い学びを促す環境が少なかった。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	自己（学校）評価		学校関係者評価		次年度に向けた改善案
				評語	コメント	評語	コメント	
学力の向上	○授業力の向上	・校内研究会の充実。 ・相互授業参観の実施。 ・他校授業実践の参観。	・年6回の研究授業を実践。月1回の相互授業参観。年3回以上の区内外の参観。					
	○基礎基本の定着	・放課後学習教室、家庭学習の充実。 ・個に応じた学習の充実。	・区学力調査で全学年で国語、算数とも全国平均を上回る。					
	○読書科の更なる充実	・他教科との関連を図り、探究的な学習を推進する。	・月2回の読み聞かせ、年3回の読書月間を活用する。					
体力の向上	○体力の向上	・週1回の運動遊び、年3回のなわとび週間の設定。 ・授業の中で課題を意識した補助運動を取り入れる。	・体力調査で全学年、全科目全国平均を上回る。					
	○体育の授業力向上	・校内相互授業参観により授業改善を図る。 ・わかる、できる喜びを味わわせる。	・月1回の相互授業参観、年3回の自己申告面接等で課題を把握し改善させる。					
	○食育、健康教育の充実	・栄養士、養護教諭を中心に食の安全、健康の大切さに関連する教育を充実させる。	・児童に全校放送で毎日発表させる。計測等の時間を活用し年3回保健指導をする。					
実現に向けた教育の推進 共生社会の実現	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実	・ユニバーサルデザインを意識した学習環境づくり。	・週に1回、巡回指導教員、特別支援教室専門員と担任が連携を図る。					
	○エンカレッジルームの活用促進	・エンカレッジルーム使用の約束、指導方針を決め、必要な児童のために環境を整える。	・生活指導部を中心に、使用上の留意点を随時見直し効果的に活用する。					
	○副籍交流及び共同学習の実施充実	・副籍交流、共同学習の推進を図る。	・月に1回の学校だより等の交換や体験的な交流学習を設定する。					
学校の開かれた地域社会の実現	○学校ホームページの充実	・学校ホームページを通して保護者、地域の方々に学校での様子をより分かりやすく情報発信する。	・全学年週に1回以上、児童、学校の様子を発信する。年400回の更新。					
	○学校関係者評価の充実	・学校評議委員会を年3回実施し、学校運営についてのご意見、助言をいただく。	・各種アンケート、学校公開等により、情報を発信するとともにお意見を参考にする。					

教育 特色 ある 展開	○学力向上についての取組	・校内研究授業の充実、放課後学習教室、夏季学習教室の実施、家庭学習の充実。	・区学力調査、昨年度に比べ全学年国語、算数ともに3%向上させる。				
	○心理教育プログラムの実践	・心理教育プログラムに取り組み、推進委員会とともに区内へ周知する。	・スクールカウンセラーや心理士と連携したの授業研究を進める。				
	○環境教育の充実	・日本らしい自然の緑の再生に取り組む。	・全校で苗植えした在来植物の育成と移植を通して、学びを深める。年に2回の観察、移植と年2回の出前授業を実施する。				